

ガバナー

Rotary International District 2740

月

2023.9

Vol. 3

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

信



寿福寺(じゅふくじ)の逆さ新緑

2023-2024年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー 緒方 信行



2023 - 24 年度 国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

index

ガバナーメッセージ.....	1
祐徳稲荷神社への安全祈願参拝報告.....	3
米山記念奨学生視察・研修旅行報告.....	4
国際青少年交換委員会報告.....	9
ガバナー公式訪問クラブ報告.....	10
地区ロータリー財団セミナー開催のおしらせ.....	13
タイ北部少数民族「アカ族」子供就学支援事業報告.....	14
職業奉仕合同セミナーのお知らせ.....	15
地区大会のご案内.....	16
私の国際大会・編集後記.....	裏表紙

表紙説明 「寿福寺(じゅふくじ)の逆さ新緑」

平戸松浦藩主の江迎郷の祈願寺として、370年以上の歴史のあるお寺。

「逆さ新緑」は広間の畳を一部はがしてアクリル板をはめ込むことで、庭園の鮮やかな新緑が逆さに写る仕掛けを施しているユニークな趣向。

Governor's Message



8つの重点項目について

2023-24 年度 第 2740 地区 ガバナー 緒方 信行

私は2023-24年度の地区運営方針を「継続と革新の理想的なバランス」としました。継続すると同時に変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。

そのために8つの重点項目を設定し、前月号から一つずつ、説明させて頂いています。今回の重点項目は、「RLI委員会の推進・活動」と「戦略計画委員会の推進・充実」です。

3. 「RLI委員会の推進・活動」

ロータリーの知識を知る目的としての一つにRLIの実践があげられます。

The Rotary Leadership Institute JAPANによれば、「ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）は、1992年、元RI理事デビット・リンネット氏の提唱で始められ、世界各地の地区に組織された会員地区における、他地区と合同で実施される、草の根レベルの指導力育成プログラムです。RLIは、最近ロータリー・クラブに入会した会員を含む、潜在的なクラブ役員および他のクラブ会員を対象に、一連の質の高い指導力育成コースを実施しています。コースは、世界中の指導力とロータリーの知識を重視しています。」とあります。

当然、ロータリーの将来のリーダーを育てるのに、RLIが必須であることに疑う余地はありま

せん。RLIを習得するためには、まず、地区内にファシリテーターの育成が先決であり、かつ、ファシリテーション形式（参加型）の会議のやり方に習熟する必要があります。

次にファシリテーター役と参加者役に分かれての模擬会議をロールプレイングで行い、スキルの定着を図ります。その後でRLI研修に取り組む必要があります。

ファシリテーションに習熟するためには、次の点についての検討が必要です。

- 1) ファシリテーターの修練（ファシリテーション形式で会議するリーダー）
- 2) 参加者（プロジェクト、問題意識を持った参加者）
- 3) 場作り（話しやすい会場作りと運営スキル）
- 4) テーマ選択

これらの点を十分に検討の上、ファシリテーションを実施することで、より充実した結果を得ることができるでしょう。こうして行ったファシリテーションにより得られるメリットは次の5つになります。

- 1) 納得できる合意を形成することができる。
- 2) 革新的アイデアが生まれる。
- 3) 参加メンバーのやる気を創出する。
- 4) 参加メンバーが、会議の前と後で自分の考え方がどのように変化したか？の自分の考え方の変化を認識できる。
- 5) 短時間でよりよい成果が得られる。

R L I 研修セミナーに参加される方の中には、ファシリテーション=R L I であると誤解されている方がおられます。ファシリテーションはあくまで「会議のやり方」であり、R L I は「指導者育成方法論」であり、これらは別物です。

これから R L I の研修を受ける方々は、多少、時間はかかりますが、まずは、ロールプレイングによるファシリテーション模擬会議を何度も経験してみることをお勧めします。そのうちに、ブレインストーミングの効果により、一人では考えつかないアイデアが想起され、ロータリーの研修が楽しいものになっていくでしょう。そのようなメンバーが増えれば、あなたのクラブはより活力のある、楽しいクラブに変化していくでしょう。

4. 「戦略計画委員会の推進・充実」

皆様のクラブはどのようなクラブになりたいですか？戦略というと戦うイメージがありますが、そうではありません。あなたのクラブが活動的で、夢のあるクラブになるための道筋を立てること、それが「戦略」です。夢が実現したならば、入会希望者も増えるでしょうし、地域でのあなたのクラブのイメージもアップするでしょう。

炉辺会合やクラブフォーラムで自分のクラブがどのようにありたいのか、テーマとして掲げたことがありますか？。かつて、第2740地区においても、クラブ満足度アンケートを実施しましたが、その結果を各クラブは活かすことが出来ず、会員が減少しました。このような状況を受けて、積極的に「クラブ内に戦略計画委員会を作ってください。」ということになりました。

現在、ほぼすべてのクラブに戦略計画委員会が出来ましたが、何をしたらいいのかわからないという休眠委員会があるのも事実です。しかし、クラブ戦略の必要性を認識しているクラブは活発に戦略計画委員会を立ち上げ、会長の方針の下、クラブ運営委員会、クラブ理事会、奉仕委員会が中心となり、クラブで新たな各種のプロジェクトが活発に行われてきています。この取り組みはクラ

ブによって温度差があるのが現状です。その結果、「クラブ満足度」は、クラブ間でかなりの差が生じています。

勿論、地区としても、地区戦略計画委員会は動いています。緒方年度には「継続と革新の理想的なバランス」という地区運営方針を掲げ、他地区と共同で「ONE Q SYU」（ワンキュウシュウ）の名のもとに、公共イメージ向上のための2つのプロジェクト「ロータリー奉仕デー」と「ポリオ・デー」が行われます。

国際ロータリーは戦略計画委員会の作り方、運営委方法について、以下のように指針を出しております（詳しくはMy Rotary ご参照）。

- 1) クラブの元リーダー、現リーダー、次期リーダーから成る戦略計画チームを結成し、計画の立案と実行を監督する。
- 2) 戦略計画立案会議では、偏りなく物事を考えることができる人が進行を担当する。
- 3) 幅広い見解を取り入れるため、できるだけ多様な会員が立案に参加する。
- 4) クラブの目標が地区目標とロータリー戦略計画の目標に沿ったものとなるようにする。

最後に、戦略計画立案のガイドをご紹介します。

- ①クラブの現状分析
- ②ビジョンの大枠を作成
- ③クラブの現状を考慮してビジョンを調整
- ④ビジョン実現に向けた優先事項を設定
- ⑤優先事項に沿って 今後 3～5 年の年次目標を設定
- ⑥戦略計画の実施状況を随時確認する

まだ、活動していないクラブは、これを参考にクラブ戦略計画委員会を運営してください。

ご相談は地区事務所でお受けいたします。

【祐徳稲荷神社への安全祈願参拝報告】 緒方ガバナー年度スタートの『鹿島立ち』



左：村瀬高広地区幹事 中央左：千葉憲哉副ガバナー 中央右：植松第3グループガバナー補佐 右：平川直樹会長

7月18日、緒方ガバナー年度のガバナー公式訪問が鹿島RCからスタートしました。

公式訪問に先立ち、第2740地区恒例となっている祐徳稲荷神社での安全祈願、通称「鹿島立ち」が執り行われました。

参拝には、千葉副ガバナー、植松第3グループガバナー補佐、村瀬地区幹事をはじめ、鹿島RCから平川会長、大塚幹事にご参列頂きました。

初めに貴賓室にて鍋島宮司様からご挨拶をお受けし、つづいて、石壁山の中腹にある舞台造りの御本殿にて安全祈願の祝詞を奏上頂きました。祝詞奏上のあと、巫女さんによる神楽舞の奉納、玉串奉奠を行い、御神酒をいただいて無事神事を執り納めることができました。

神前では、ロータリー会員の皆様の今年一年の無事とご活躍を祈願してまいりました。

10月の地区大会に向けて、これから3ヵ月間、第2740地区55クラブへのガバナー公式訪問をつつがなく進めていきたいと思ひます。

第2740地区ガバナー事務所 山下 雄弘（佐世保北RC）

米山記念奨学生視察・研修旅行報告

国際青少年交換委員会 委員 高谷 信一（長崎出島RC）

2023年7月22日から23日にかけて1泊2日の行程ですが、少し足を伸ばし、鹿児島方面へ日本の歴史を体験し学ぶことを目的として、研修旅行を実施いたしました。当地区の米山記念奨学生14名、学友会会長、カウンセラー並びに松田委員長、他地区委員等5名の総勢22名が参加し執り行いました。

初日は景勝地である仙巖園で島津家の庭園を見学の後、維新ふるさと館にて幕末の歴史をメインに薩摩の文化に触れ、体験しました。城山展望台では戊辰戦争における西郷隆盛 最期の地ということについて、ガイドさんの説明に聞き入っていました。

ホテルに到着後、懇親会が終わってからは外出もせず部屋に集まり、時間が経つのを忘れる程、奨学生同士の意見交換会を行ったようです。

2日目は知覧の武家屋敷庭園及び平和会館を訪れ、戦争がいかに悲しい結果をもたらすかを感じ取っていました。

今回の研修旅行を通じて日本の歴史の一部を学び体験するとともに、奨学生同士の親睦をより深めることが出来たという点において、その意義と目的を十分に達成できたものと確信しております。



米山記念奨学生視察・研修旅行報告

..... 佐賀大学 **ドゥン ティ ゴック ビック** (佐賀西RC)

待ちに待った今年度の研修旅行はロータリー奨学生と地区委員の方々を含め、20名程度で鹿児島に行ってきました。鹿児島は思ったより賑やかな街でびっくりしました。私は研修旅行の中で知覧特攻平和会館を見学できることが一番良かったところです。

知覧特攻平和会館では陸軍特別攻撃隊員の遺書と手紙などの遺品や関係資料を展示しています。その遺書や手紙はタッチパネルで現代語訳や英語訳されていて、外国人の私たちでも簡単に読むことができます。遺書や手紙を読むことで、当時の若者たちがどんな気持ちで戦争に行ったのか、死ぬと分かった時点でどんな思いで、どんな願いを願ったのか、ほんの少し分かった気がします。

ベトナムでも長い間戦争でしたが、戦士たちのいる場所まで戦場になってしまい、爆弾で全部破壊されました。そのため、今では、戦争の残酷さは目で見て感じる事ができません。たった1時間の見学でしたが、戦争はあつてはいけないもの、平和の中にいられるのは当たり前ではないことなど、改めて気づいたことがたくさんありました。いつか子供を連れて、もう一回見学しに行きたいと思います。

..... 佐賀大学 **コウ テキ 寇 迪** (佐賀北RC)

7月22日～23日、私たち奨学生が鹿児島で一泊二日の旅行をした。鹿児島に向かうバス旅は長かったが、みんなは楽しかった、大学生なのに小学生の遠足みたいにワクワクしてしゃべっていた。鹿児島の旅を楽しみにしていた。

最初の観光地は世界遺産である仙巖園だった。仙巖園の中の桜華亭で薩摩郷土懐石料理を食べた。とってもおいしかった。しかも、桜島を眺めながら食べていた。おなかだけじゃなくて心も満腹だ。続いて、城山展望台で鹿児島の街並みを鳥瞰した。壮観で綺麗だ。また、維新ふるさと館も行った。日本の近代歴史について勉強した。先人たちの志や産業改革に流した血と汗に心底から感心した。先人たちの努力がないと今の生活が成り立たないからだ。それは世界どこの国でも共通のものだ。

次の日は知覧武家屋敷庭園と知覧特攻平和会館に行った。今の平和の大切さをもう一度感じた。自分が世界平和のために微力ながら尽力するのを心の中で誓った。ロータリーの理念でも、自分の思いでも、中日友好が長く続くように努力する。ロータリーの大家族に入って良かった。人生の宝物になった。ありがとう。

..... 長崎大学 **ジョン ジウオン 鄭 至媛** (長崎中央RC)

先週末、研修旅行に行ってきました。私は継続奨学生であるため、今回で2回目の研修旅行になります。今回は飛行機ではなくバスで移動しました。途中で配ってくれるお土産を小鳥のように受け取り、退屈せず移動することができました。自然風景が素敵な鹿児島でおいしい食事をしながら、日本の歴史的なところで観光をしながら、楽しい二日間を過ごしました。今年の奨学生たちと1対1で話をする機会も多く、彼らの日本への愛情と学業への情熱がわかりました。

そして、カウンセラーの山本さんが旅行に同行してくれました。写真も一緒に撮って美味しいものも食べました。父のように温かい心で旅行中ずっと私のことを気にかけてくれました。ロータリー米山奨学生になって、大切な縁ができて嬉しいです。そして、大切な人たちと楽しい思い出を鹿児島で作れて嬉しいです。翌日の例会で、長崎中央クラブで旅行の話しながら鹿児島で買ったお土産を配りました。孫の言うことを傾聴する祖父たちのようにクラブの方々が親切に旅行の話聞いてくれました。いつもありがとうございます。

米山記念奨学生視察・研修旅行報告

..... 鎮西学院大学 マガル, パビトラ プンジェリ (大村RC)

今年は20人のグループで米山記念奨学生やカウンセラーや地区委員と一緒に鹿児島に行きました。皆さんと一緒にバスに乗って、ガイドさんの話を聞きながら美しい景色を見るのは楽しかったです。

私たちの最初の目的地は仙巖園-尚古集成館でした。この場所は海の近くにあり、とても素敵なお庭でした。宮展は国内外の要人をもてなす迎賓館としても機能しました。そこにあるレストランから美しい景色を見ながら美味しい食事を召し上がりました。そして、少し山を登って鹿児島県と桜島を見ることができました。その後、維新ふるさと館に行きました。日本の古い生活様式やその時代に使われていた物を認識する機会を得ました。知覧武家屋敷庭園では歴史的な日本を反映した美しい市場やきれいな手作りした道、人と風土が育っている家並みもありました。最後の場所は知覧特攻平和会館でした。この会館には空軍の古い計器や第二次世界大戦で多大な貢献をしたパイロットの写真等がありました。

この2日間の鹿児島研修旅行で新奨学生と仲がよくなって、また新しい歴史や文化を知って学ぶ事ができて本当に良かったと思います。

..... 西九州大学 ^{リュウ コウゲン} 劉 鴻源 (嬉野RC)

鹿児島へ行くのは初めてで、皆さんと一緒に普段はできないような貴重な体験をすることができ、嬉しく感謝しております。

まずは研修中ロータリーの奉仕精神と平和理念の実感を多く感じました。写真を撮ってくださる方々が皆さんと一緒に来たのに、残念ながら記念の集合写真に入れられないことはカメラマンの奉仕精神だと思います。平和理念については、知覧特攻平和会館を見に行く途中、Mさんが戦争のお話をする時に目に涙を浮かべて話しているのを見て、そして、実際会館の中身を見に行った後、戦闘機の残骸と兵士の遺書及び映像などを通じて、戦争が始まればきっと残酷な結末が待っていると心が重くなりました。平和は本当に何よりだからこそ、心より今自分が持っている物に大感謝し、今後国境を越えて世界中の平和を推進する為に行動することが奨学生として私の役目だと再認識しました。

また維新ふるさと館を観光した際に、佐賀市唐人町にある佐賀の偉人銅像が頭に浮かんで来て、佐賀と一緒に偉人の貢献と歴史の文化を大切に守っていると実感しました。さらに、Sさんと交流の中で、日本食卓に関するお酒文化はもちろん勉強になり、様々な知識を事前に覚え、把握する重要性も大変勉強になりました。

..... 長崎外国語大学 ^{ゴ タクリン} 呉 卓霖 (長崎北東RC)

一か月ぶりにほかの奨学生に会いました。2日間だけの研修旅行ですが、言葉にできないほどとても楽しかったです。

今回の研修旅行は朝早くバスに乗って、鹿児島に行き、仙巖園で見学したり、桜島を見たりしました。そして仙巖園の中の桜華亭で昼ごはんを食べました。その後バスに乗って、維新ふるさと館を見学しました。島津や鹿児島に影響が深い人物に関するものがいっぱいありました。私は歴史がすきで、とても勉強になりました。地区委員の重信さんが奨学生の皆さんに白熊のかき氷をおごりました。とても美味しかったです。ホテルでの晩ご飯の後は奨学生みんなで一つの部屋に集まって、いっぱい話をして楽しかったです。

2日目は知覧武家屋敷庭園と知覧特攻平和会館に行きました。初めて日本の武士の家を見学しました。いつもゲームやドラマで見ていたのですが、その場で見て、感覚がまったく違いました。知覧特攻平和会館で印象的だったのは、知覧高等女学校の学生と知覧の人が特攻隊の世話をして、見送りしたということで、世話する側の人是一体どんな気持ちで見送るのでしょうか。そこにあるビデオは最後まで見ていただけませんでした。

米山記念奨学生視察・研修旅行報告

..... 長崎県立大学 **ボ ティ チュ ッ ク ク イ ン** (佐世保南 R C)

今回の旅では、自然と触れ合える場所に行くだけでなく、日本の歴史の一端も学んだ。維新ふるさと館では、日本の歴史の変遷、明治維新期の特徴について詳しく学んだ。当時の人々の暮らしを感じた。また、英雄たちの物語や、当時の時代を支えた彼らの活躍にも感銘を受けた。

特に、知覧特攻平和会館に行ったとき、戦争中に旧陸軍たちが経験したであろう大変な状況に驚いた。知覧は太平洋戦争末期、特攻基地のあった場所で、旧陸軍たちの生活の説明をもらった。ここでは、陸軍特別攻撃隊員の遺影、遺品、記録等貴重な資料を展示してある。当時の旧陸軍たちの勇敢な犠牲は、後世まで永遠に残る大きな価値のあるものだった。人を愛し、常に平和を求めることについての教訓だと思う。これは本当に非常に尊敬すべきことであり、次世代が理解し、維持する必要がある。

これは私にとって意味のある旅行である。私はロータリー奨学生とともにあちらこちらに行ったり、体験したりして、皆さんの誠実さを感じていた。近い将来、人生をより有意義なものにするために、みんなと交流し、学ぶ機会がもっと増えることを願っている。

..... 長崎国際大学 **マ ウ ト ウ** **馬 宇 形** (佐世保北 R C)

今回の鹿児島旅行は、ロータリーに加入して以来長い間、期待していた旅行であり、そして思い出に残る旅行となった。鹿児島の雄大な桜島の火山風景を見て、奇麗な仙巖園、知覧庭園の美しさにも感嘆して、維新ふるさと館と知覧特攻平和会館を見学することで、私が過去に知らなかった日本の歴史を知って、世界平和の重要性をより深く知ることができたからである。

世界平和は誰にとっても深い意味を持っている。平和とは、戦争、衝突、暴力がないことを意味し、人々は自由に生活し、幸福を追求することができる。平和は人々に安全な環境を提供し、各人が自分の潜在力を発展させ、平等な機会を得ることができるようにした。それは協力、理解と尊重を奨励し、人と人との友情と団結を促進していると思う。そのため、世界平和は私たち一人一人にとって非常に重要であり、それは人類の進歩と共通の幸福の最高の目標を代表していると思う。

ロータリーの皆さんと共に過ごせたことに心から感謝すると共に、これからは、自分をもっと一生懸命勉強して、未来に優秀な人材になれるように頑張って、中日友好の架け橋になれて、ロータリーの国際平和を創造し維持する精神を発揚していきたい。

..... 長崎総合科学大学 **リ ン** **ギョウヨウ** **林 鉦洋** (長崎みなと R C)

二日間の旅行が思い出深く、素晴らしい経験となりました。鹿児島研修旅行の中で最も感銘を受けた場所は知覧特攻平和会館でした。この場所は、第二次世界大戦中に特攻隊員たちが出発前の最後の時間を過ごした場所であり、彼らの犠牲と勇気を称えるために作られた施設です。会館に入ると、まずその厳粛な雰囲気にも圧倒されました。

特攻隊員たちの写真や手紙が展示されており、その中から彼らの個々のストーリーを知ることができました。彼らが若くして命を捧げた決意と、戦争の悲惨さに心を痛めました。中には愛する妻への手紙もあり、そこには「自分なんて忘れて未来を生きなさい」という言葉もありつつ、後半には「ただただ会いたい」という素直な心も書かれていて、本当に読んでいて辛かったです。

知覧特攻平和会館は、過去の歴史を学ぶだけでなく、平和の尊さと大切さを改めて感じさせてくれる場所でした。特攻隊員たちの犠牲が無駄にならないよう、私たちに何かできることがあるのではないかと考えさせられました。この体験を通じて、戦争の恐ろしさと平和の尊さを忘れずに、未来に向けて良い影響を与えることが重要だと感じました。

米山記念奨学生視察・研修旅行報告

..... 長崎大学 アルピツァー キロス, ジェファソン リカルド (長崎出島RC)

鹿児島旅行は素晴らしい経験だった。まず、この旅をととても良いものにしてくれたのは、他の奨学生たちだ。異なる文化が簡単に仲良くなり、すぐにお互いをサポートし合えることに驚きました。

バスでの移動はととても長く、6時間ほどで最初の目的地である仙巖園に到着した。美味しい伝統的な食事の後、世界遺産に登録されている庭園を見学することができた。庭園から眺める桜島は印象的で感動的だ。次の目的地、明治維新記念館で本当に楽しかったことのひとつは、その双方向性だ。ゲームや楽しいアクティビティで、文化に浸ることができました。また、鹿児島弁についても学ぶことができ、生徒たちも真似をして楽しんでた。

ホテルに着いてからは、街を散策したり、地元のお菓子を食べたり、最後に夕食を食べながらおしゃべりをしたりと、ととても楽しい時間を過ごすことができた。

最後に訪れたのは知覧特攻平和会館だ。この博物館は、沖縄戦で使用された特別航空基地に建てられた。私が最も衝撃を受けたのは、これが最後の飛行になるとわかっていたパイロットたちの遺書だ。素晴らしい経験だったと思うし、今では友人だと思っている他の奨学生とあの美しい場所を訪れる機会を米山が与えてくれたことをととても嬉しく思います。

..... 長崎大学 ^{ソウ} 宋 ^{カセン} 佳璇 (長崎RC)

第2740地区米山記念奨学生研修旅行に参加させていただきました。素晴らしい研修機会を提供して下さった委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

今回は鹿児島を訪れました。一日目の午前中は薩摩郷土懐石料理を堪能し、仙巖園を散策しました。仙巖園では、鶴の形を模した石灯籠や赤色の城門など、中国・琉球文化との交流・融合の歴史が感じられます。城山展望台から桜島の壮大な火山を眺めながら「火山が噴火した時には、火山灰は北海道まで飛んだ」というガイドさんの話に驚き、人間が自然の前では無力であることを思い知りました。二日目は知覧の庭園と特攻平和会館に行きました。戦争に追い込まれ、国のために命を捧げた人々の物語を聞き、戦争の悲惨さと平和の尊さを深く感じさせられました。

研修を通して、歴史・文化を学び、多文化交流の楽しさや意義を実感しました。皆さんと色々な場所で記念写真を撮ったり、アメリカさんと一緒に宿泊したりした思い出は人生の財産です。将来は、ロータリークラブで培ったコミュニケーション力や平和への想いを大切に、国際交流のために自分の力を捧げたいと思います。

..... 鎮西学院大学 ハティ ヒエン (諫早北RC)

私は、ロータリー奨学会のおかげさまで研修旅行に参加することができ、大変光栄なことと感じております。皆との絆をより一層深めることができたと思います。

二日間研修旅行を過ぎて最高の思い出や印象に残りました。1つは仙巖園であるお店で昼ご飯を頂き桜島を見られてととても素晴らしい景色でした。島津家別邸「仙巖園」は鹿児島にある、日本を代表する大名庭園で、桜島を望む雄大な庭園に加え、殿様が暮らした御殿があり、お食事やお土産物の施設も充実しています。そこは涼しくて理想的な場所でした。

もう1つは、知覧特攻平和会館です。太平洋戦争末期、日本各地に基地や飛行機をはじめ数多く軍事施設が造られ、鹿児島県内の基地からも多くの特攻隊員が南の空へ飛び立って行きました。戦争の最前線に立たされた同年代の若者が残した家族への手紙を読み、ととても感動しました。今日の平和の礎にこのような悲しい出来事があったことを改めて思い、再び戦争を起こしてはならないと思った。

今回の旅で私にとっては大変勉強になりました。皆さんと過ごした二日間は私たちの絆を深める素晴らしい機会でした。心から感謝しております。

国際青少年交換委員会報告

国際青少年交換委員会 委員長 徳永 隆信 (有田RC)

第一回オリエンテーションが、2023年7月30日に諫早サンプリエールで行われました。総勢37名が参加し、委員会メンバー8名、ホストクラブ関係者、ホストファミリー関係者、千葉副ガバナー・村瀬幹事の方々が出席しました。

1年間の留学を終えた帰国生4名が、英語と日本語、台湾に留学した留学生は中国語を交え、15分のスピーチを行い自身の留学経験や成長について報告しました。達成感と共に、留学前の不安から一変した成長した姿勢が見受けられました。ロータリーと家族への感謝の言葉も述べられ、人間的にも成長した姿を見ることが出来ました。彼らは1年間ROTEXとしてサポートを行います。

また、今期出発する4名の留学生が、お揃いのブレザーに身を包み、個々に決意表明を行いました。彼らの学業への真摯な姿勢と成長への意欲が感じられました。保護者の方々も、1年間のオリエンテーションを通じて協力し、委員会と共にサポート体制を築いています。

次回オリエンテーションでは、今期のインバウンド留学生2名を迎える予定です。留学生交換委員会は、今期を通じて留学の意義や成果を広める使命を担い、引き続き活動していきます。バックアップ体制が固まっており、留学生たちの安心と成長をサポートしていきます。

国際青少年交換委員会第一回オリエンテーションは、留学生たちの成果と成長を讃える素晴らしいイベントとなりました。今後のオリエンテーションも、留学生交換委員会の使命を果たす大切な場となることでしょう。



ガバナー公式訪問クラブ報告



鹿島RC

7月18日(火)

会長 平川 直樹

幹事 大塚 信一郎

7月18日(火)、千葉副ガバナー、第3グループ植松ガバナー補佐、村瀬地区幹事、佐世保北RC山下君の4名にご来訪いただき、2023-24年度最初のガバナー公式訪問例会を開催いたしました。例会に先立ち、緒方ガバナー、千葉副ガバナー及びスタッフの皆様の一年のご活躍とご無事を願い、鹿島RCより会長・幹事も随行し、祐徳稲荷神社にてご祈祷を執り行いました。

その後の懇談会では、鹿島RCの理事・役員も交えて、千葉副ガバナーより緒方ガバナーの地区の運営についての思いや、ロータリークラブの原点についてのお話を伺いました。

また、当クラブが行っているプロスポーツ選手を招いての青少年奉仕事業について、高い評価をいただき、事業の継続に自信を得ることができました。今年も一年のスタートを「鹿島立ち」で行っていただいたことを鹿島RC一同、大変嬉しく思います。



佐賀北RC

7月19日(水)

会長 山田 誠

幹事 吉田 健二

7月19日、ホテルグランデはがくれにて千葉副ガバナー・山崎ガバナー補佐・村瀬地区幹事をお迎えし開催しました。

例会に先立って行われた事前懇談会では、談笑まじりの和やかなムードの中、地区運営方針を理解し、自分たちのカラーを出してクラブ運営をしていきなさいと激励を受けました。

例会では、マッキナリーRI会長・緒方ガバナーのビデオを拝見し、その後千葉副ガバナーの卓話ではまず、緒方ガバナーの今年にかける思いを聞きました。そして、ロータリーの哲学や奉仕理念は変えてはいけない事を再認識することができました。

また、会員の質の向上を図り会員増強をすることの大切さや、衛星クラブについて解りやすく説明頂きました。ロータリーの本質を知り、今後のロータリアンとしての在り方を理解する大変有意義な時間となりました。

お忙しい中、当クラブにお越しいただきありがとうございます。

最後になりますが、緒方ガバナーの早期ご回復を願っております。



ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎 R C

7月20日(木)

会長 山口 宏二

幹事 西村 勇二

さる7月20日(木)当クラブの公式訪問例会に、緒方ガバナーの代理として千葉副ガバナーそして崎永パストガバナー、天本ガバナー補佐、村瀬地区幹事に来訪して頂き、地区運営方針など多岐にわたりご説明頂きました。

公式訪問例会を通して、地区運営方針である「継続と革新の理想的なバランス」と長崎ロータリークラブの基本方針の一つである「温故知新」が互いに関連性がある事、今のロータリー活動において、過去にあったことをよく調べ、学び、そうして得られた知見を活かして新たな知識を得る事がこれからのロータリー活動では最も重要視すべきであることを再認識した次第です。今後のクラブ活動に活かしていきたいと考えます。

最後に、村瀬地区幹事他ガバナー事務所スタッフの方々のご健勝とご活躍、並びに緒方ガバナーの一日も早いご回復をお祈りいたします。



佐世保南 R C

7月21日(金)

会長 野田 大介

幹事 下川 弘樹

2023年7月21日、国際ロータリー2740地区ガバナー公式訪問が開催されました。ガバナー緒方信行様が諸事情の為欠席で、副ガバナー千葉憲哉様、第5グループガバナー補佐大木亮諄様、地区幹事村瀬高広様をお迎えしての公式訪問例会でございました。また、来訪でパストガバナー福田金治様、第6グループガバナー補佐井上正人様にご出席いただきました。

千葉副ガバナーの例会場入場の際は、会員一同でお出迎えをさせていただき、それから食事を始めました。この公式訪問例会時に新入会員の入会があり、千葉副ガバナーにロータリーバッジを付けていただきました。また当クラブの姉妹クラブであります、台中北區ロータリークラブの子供たちがショートステイ事業に来訪していただきましたのでご紹介させていただきました。この機会にご紹介できましたことはよかったですのではと感じております。

千葉副ガバナーからの講話では、RI会長と野田会長のテーマが「世界に希望を生み出そう」で、同じ想いに共感を持たれていました。また、出席・親睦の重要性、会員増強の重要性についてもお話をいただきました。

千葉副ガバナーは、パストガバナーでもあり経験豊富な方で、すごく和やかな雰囲気の中、時間ぎりぎりまで有意義な時間を過ごさせていただきました。

また、緒方ガバナーが掲げておられる、「継続と革新の理想的なバランス」の8つの重点項目を、一つでも多く実践してよい一年間にしたいと感じた一日でした。



ガバナー公式訪問クラブ報告



唐津 R C

7月25日(火)

会長 山下 正雄

幹事 染谷 悦之

2023年7月25日(火)、からつ温泉旅館「綿屋」において、千葉憲哉副ガバナー、隅田達男パストガバナー、山浦義行ガバナー補佐、村瀬高広地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会及び懇談会を開催いたしました。

例会に先立つ懇談会においては、千葉副ガバナーから当クラブに対し、非常に有益なアドバイスをいただきました。その後、会員増強や戦略委員会などについて率直な意見交換がなされました。

例会における卓話では、千葉副ガバナーから、緒方信行ガバナーの地区運営方針である「継続と革新の理想的なバランス」につき、具体的にご解説をいただきました。最近のロータリアンは質が低下しているのではないかとの指摘は自分としても耳が痛いものでした。

また、例会は職業倫理を学び磨く場所であること、親睦も心を磨くためのものであることなどをご解説いただき、日々の活動で疎かになっていた点を見直す良いきっかけとなりました。

新体制となり時間もなく、至らない点多々あったと存じますが、皆様のご訪問に改めて感謝申し上げます。



松浦 R C

7月26日(水)

会長 上村 幸四郎

幹事 青崎 秀雄

2023年7月26日(水)松浦シティホテルにおいて、千葉憲哉副ガバナー、井上正人ガバナー補佐、村瀬高広地区幹事の3名をお迎えし、当クラブからは、上村会長、青崎幹事が出席して例会前の懇談会を開催しました。

懇談会の中で、千葉副ガバナーより、①デジタル化、情報の共有、②DEIの推進、③RLI委員会の推進と活動、④戦略委員会の推進と充実、⑤ロータリーファミリーの設立、⑥IMの開催、⑦会員増強、地区戦略・公共イメージ委員会継続事業、⑧衛星クラブの設立などについて指導を受けました。

当クラブの上村会長からは、松浦ロータリークラブ本年度の活動方針を説明し、「会員増強」「地域社会への貢献」などを話しました。また、これまで、諸先輩が築き上げた活動を継承し「歴史に学ぶ」を、各会員が胸に秘め進んで行く事を伝えました。

千葉副ガバナーより、松浦RCは、伝統的に、社会奉仕・青少年奉仕がすばらしく、継続して地域に貢献してくださいとの所感を頂きました。

公式訪問例会には、福田金治パストガバナーにも出席をいただき、千葉副ガバナーから、デジタル化の推進、衛星クラブの取り組み方などの説明をしていただきました。

松浦ロータリークラブにとって、大変有意義な公式訪問であり、今後の活動においても、思いを新たにする場になったと感謝しております。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀 R C

7月27日(木)

会長 楠田 俊明

幹事 錦織 信貴

2023年7月27日(木)、当クラブへ千葉憲哉副ガバナーが公式訪問されました。

例会前の懇談会では、楠田会長がテーマに掲げる「つなげていこう、ロータリーの輪」の実践として、親睦例会(7月13日)に再結成2年目の佐賀ローターアクトの会員を招待し、星野会長他7名が来訪し親睦を深めたこと、そして、この例会に1973年度国際青少年交換派遣学生の佐藤豊子(延岡 R C、旧姓梶山)さんがご夫妻で来訪され、約50年ぶりに当クラブ会員と親睦を深め、ローターアクトメンバーに対しては「あなた達、将来ロータリーに入りましょうね」と声をかけてくださったことを紹介させていただきました。

公式訪問例会では、緒方ガバナーの運営方針の説明とポリオへの取り組みを中心にお話をいただきました。根絶まであと一歩とも言われているポリオに、なぜ継続して多くのお金を費やしていかなければならないのかを聞かせていただき、認識を新たにすることができました。



2023-24年度 第2740地区

地区ロータリー財団セミナー開催のお知らせ

2023-24年度国際ロータリー第2740地区ロータリー財団セミナーを開催します。

地区ロータリー財団委員会といたしましては、今年度も地区補助金・グローバル補助金の積極的な利用促進、グローバル補助金奨学生募集・選考・面接、ポリオ撲滅運動の支援等を進めてまいります。クラブ会員の皆さまにご理解を深めて頂けますよう、セミナーを開催致します。

下記の通り、ご案内いたしますので、是非、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

日 時：2023年11月12日(日) 12時30分～登録受付

13時00分開始 16時00分閉会予定

場 所：相浦地区コミュニティセンター 多目的ホール

(長崎県佐世保市川下町209-5)

※タイムスケジュール等詳細につきましては、決定次第、ご出席されるクラブ宛てにお知らせ致します。

タイ北部少数民族「アカ族」子供就学支援事業報告

ロータリー財団委員会 委員長 **岡村 康司** (長崎南RC)

私は「アカ族子供就学支援基金」の代表原田義之氏 (3360地区タイ・チェンライRCパスト会長) と4年前神戸空港で初めてお会いし、タイ北部ミャンマー国境に近い山岳地帯に暮らす少数民族のひとつ「アカ族」の話を聴きました。

アカ族の子供たちは家を離れ、いくつかの寮に分かれて住んでいます。しかし、貧困であるがため学校に通うことができず、多くの子供が低識字。その子供たちには低識字がもたらす不幸な人生が待っています。私は、子供たちを不幸にさせないためには「識字の向上」が最重要であるという強い使命感を持って支援事業に取り組みました。

コロナ禍で計画から実施まで4年の歳月を経ましたが、前出原田氏の全面的な協力を得ながら、工事はアカ族の業者に依頼して今年5月下旬の施設が完成しました。その施設の完成に合わせ6月1日 (68歳の誕生日) 単身タイに渡り、6月3日の贈呈式に臨みました。きれいになった施設で大喜びする子供たちの姿を見ると涙が出てきました。さらに贈呈式の翌日6月4日、60名の子供たちと一緒に夕食会 (BBQ) でふれあうことができました。

子供たちは貧しくても生き生きとしていて、アカ族の子供たちの瞳はSNSによって生の人間同士の触れ合いを失くしてしまった日本の子供たちよりも輝いて見えました。まさに「奉仕の理想」がここにありました。

(支援の内容・金額)

- ・雨避け屋根付き歩廊
- ・簡易水洗トイレの設置
- ・冬季防寒具の購入
- ・洗濯物干し場の新設
- ・給食支援 合計23,209ドル (実施時レートで2,462,245円)



国際ロータリー 第2740地区

2023-24年度

職業奉仕合同 セミナー

開催日

2023.9.16^土

 11:30~受付
 12:30~16:00

参加委員会

- 職業奉仕委員会 ■クラブ管理運営委員会 ■会員増強委員会 ■公共イメージ委員会
- 社会奉仕委員会 ■ロータリーファミリー委員会 ■ローターアクト委員会
- インターアクト委員会 ■RYLA委員会

セミナーの内容



国際ロータリー第2620地区 甲府北ロータリークラブ

小林聡一郎パストガバナーによる講演

第一部「ロータリー概論—ロータリーは一日にして成らず—」

第二部「ロータリーの正統 日本の職業奉仕」

第三部 各委員会に分かれての
ファシリテーション及びディスカッション

開催場所

鎮西学院高校

 〒854-0082
 長崎県諫早市
 西栄田町1212番地1


駐車場

 駐車場は振興局予定地(空地)詳しくは
 QRコードにアクセスしてご確認お願いいたします。

〒854-0071 長崎県諫早市永昌東町26 長崎県庁 県央振興局西側空地

 分科会への参加で終了時間に誤差がありますが
 駐車場に限りがありますので乗り合わせの上 お越しく下さい。

※駐車場において発生した事故・盗難について、管理者は一切の責任を負いません


 Rotary
 Rotary International
 District 2740

 【主催】2023-24年度国際ロータリー2740地区職業奉仕委員会
 【お問合せ】2023-24年度国際ロータリー2740地区ガバナー事務所
 〒857-0874 長崎県佐世保市京坪町2-3 Nビル2階
 TEL: 0956-80-3148 FAX: 0956-80-3164
 email: ri2740ogata@beatsc.jp

国際ロータリー第2740地区 2023-2024年度

地区大会



世界に希望を生み出そう

2023年10月27日(金)・28日(土)

本会議会場 アルカスSASEBO

懇親会会場 ホテルオークラJRハウステンボス



第2740地区ガバナー
緒方 信行



第2740地区副ガバナー
千葉 憲哉



佐世保北RC会長
松田 信哉



地区大会実行委員長
富田 耕司



継続と革新の理想的なバランス

この度、国際ロータリー第2740地区第5・第6グループより緒方信行ガバナーを選出し、グループの皆様のご協力を頂いて、地区大会を佐世保市で開催する運びとなりました。

ゴードン R、マッキナリー国際ロータリー会長は、「世界に希望を生み出そう」というテーマを発表しました。

本年度の地区運営方針は「継続と革新の理想的なバランス」です。継続すると同時に、変化に対してはオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望の世界を築く手助けができます。

ポールハリスの言葉に「友情は、ロータリーを築く岩のように堅固な土台であり、寛容の精神は、ロータリーの心を結びつけるものです」また、「贅を尽くした宮殿で安らぎがないよりも、質素な家で心豊かなほうがはるかに望ましいものです」さらに「ロータリアンは、言葉より行動に心をひかれます」という言葉があります。

このようなポールハリスの想いをいできて本年度の地区大会を開催したいと思います。どうぞ多くの皆様のご来訪を心よりお願い申し上げます。



国際ロータリー第2740地区
2023-2024年度

地区大会プログラム

— 大会1日目 —

10月27日(金)

会場：ホテルオークラJRハウステンボス

(長崎県佐世保市ハウステンボス町10番 TEL:0956-58-7111(代))

◎16:30～18:00…… 青少年奉仕セミナー

【講師】 公益財団法人ロータリー日本財団副理事長
国際ロータリー日本青少年交換委員会(RIJYEM)顧問
三木 明 様
(2007-08年度 第2680地区ガバナー、姫路RC)



◎18:30～20:30…… RI会長代理歓迎晩餐会

— 大会2日目 —

10月28日(土)

会場：アルカスSASEBO 大ホール

(長崎県佐世保市三浦町2-3 TEL:0956-42-1111)



アルカスSASEBO

◎11:00～12:00…… 青少年の集い(エンドポリオイベント)

◎12:00～…………… 登録受付

◎13:00～14:27…… 本会議 [第1部]

◎14:45～16:05…… 記念講演会(80分)

【講師】 認定NPO法人 アジアチャイルドサポート代表理事
池間 哲郎 様
(日本を含む8カ国で支援事業を展開中)



◎16:20～17:20…… 本会議 [第2部]

懇親会場へ移動

◎18:45～20:15…… 懇親会

会場：ホテルオークラJRハウステンボス

(長崎県佐世保市ハウステンボス町10番 TEL:0956-58-7111(代))

— 大会3日目 —

10月29日(日)

◎8:00～16:00

記念ゴルフ大会

会場：ハウステンボスカントリークラブ

(長崎県西海市西彼町八木原郷2879-2 TEL:0959-28-1800)





私の国際大会

長崎北ロータリークラブ 小林 純一

「日本はこんな大国によく戦争を挑んだなあ。」

ラスベガスからの機窓から、まるで吸い込まれそうなグランドキャニオンの谷底を眺めながら、隣に座る中本会員と話した記憶がよみがえります。

2017年6月、第108回ロータリー国際大会は、アメリカ合衆国ジョージア州アトランタで約4万人を集め開催されました。崎永剛ガバナーを団長とした私達は、開会宣言と財団100周年を祝う点鐘で始まった大会本会議に参加し、約130か国から集まった世界中の仲間達と本場のロータリーを心から味わいました。

『風と共に去りぬ』で有名なアトランタは見どころの多い魅力的な大都会で、中でもジョージア水族館、ワールド・オブ・コカコーラ、オリンピック等様々な観光スポットが点在しています。とりわけ長崎西クラブから参加していただいた三宅敏彦会員（世界大会の常連）の提案で、急遽実現したMLBアトランタ・ブレーブスのトゥルーイスト・パーク（改名後）での大リーグ観戦は、とても良い思い出となりました。



編集後記

本誌が皆さまのお手元に届く9月初旬は白露を迎え、日中の暑さも和らぎはじめ、だんだんと秋の気配が深まってきている頃かと思います。ガバナー公式訪問時は各クラブの皆さまに温かくお迎え頂き、また、訪問後は公式訪問クラブ報告をご寄稿頂き、この場を借りて厚く御礼申し上げます。会員の皆さま方におかれましては、時節柄くれぐれもご自愛ください。

国際ロータリー第2740地区
ガバナー事務所

〒857-0874 佐世保市京坪町2-3 Nビル2階
TEL 0956-80-3148 FAX 0956-80-3164
E-mail ri2740ogata@beatsc.jp
URL <https://rotary2740.jp/>

WEBサイト▶

